

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成26年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
 公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 160-0023  
 所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1  
 セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号 機構 03 - 081  
 電話番号 03-6279-0331  
 代表者氏名 理事長 清水 康之 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小出 正治	福祉、経営	H0702006
	②	山村 弘	福祉	H0902065
	③	柳 修二	福祉、経営	H0702077
	④	原島 良幸	経営	H0404081
	⑤	米田 太郎	福祉	H1001023
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	城山保育園 上石原			
事業所連絡先	〒	182-0035		
	所在地	東京都調布市3丁目8-10		
	TEL	042-490-2031		
事業所代表者氏名	城所 理恵			
契約日	2014 年 10 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2014 年 10 月 22 日			
利用者調査結果報告日	2014 年 12 月 10 日			
自己評価の調査票配付日	2014 年 10 月 15 日			
自己評価結果報告日	2014 年 12 月 10 日			
訪問調査日	2014 年 12 月 17 日			
評価合議日	2014 年 12 月 17 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査では開始時に調査の趣旨や第三者評価制度の概略を記した依頼状、園内掲示用のポスターなどで理解促進を図り、開始後には回収率向上のため提出御礼と未提出者への呼びかけをかねたチラシを全対象者に配付した。また開始時の説明で評価項目への理解が深まるよう配慮したり、各標準項目の振り返りを的確に行うための独自資料を提供するなど、事業所が自己評価を行うにあたっての疑問や不安を軽減できるようにしている。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>「豊かな心と身体を育み、自立を見守る」 当園では、乳幼児が一日の活動の大半を園で生活することを考慮し、安定感をもって十分な活動ができるよう環境を整え、各年齢の発達段階に応じた保育内容の計画に基づき日々の指導を行い、園での生活を楽しく過ごせるように考えています。具体的には生活と遊びを通して基礎的事項・健康・人間関係・言語・環境・表現の観点から安全で情緒の安定した生活が出来るよう配慮し、望ましく成長発達するように指導にあたっております。</p> <p>「社会的責任」 児童福祉施設として子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を確実に果たします。</p> <p>「人権尊重」 保育士等は、保育の営みが子どもの人権を守る為に法的・制度的に裏付けられている事を認識し、理解します。</p> <p>「説明責任」 保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しのよい運営をする事で、一方的な「説明」でなく分かりやすく応答的な「説明」をいたします。</p> <p>「情報保護」 保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なく漏らすことはいたしません。</p> <p>「苦情処理・解決」 苦情解決責任者・苦情解決担当者及び第三者委員を設置し、体制を整備するとともに職員間で共通理解を図ります。</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆職員の専門的知識・人間性を高め、保護者・職員とのコミュニケーションをとおして相互理解を深めます。</li> <li>◆地域の医療機関・児童相談所・子育て支援機関と更なる連携を図ります。</li> <li>◆定期的な保育ニーズの調査・把握を行い、保育サービスの継続的な改善に活用します。</li> <li>◆城山保育マニュアルによる高質の保育サービスの維持を図ります。</li> <li>◆自然と親しむ体験保育を通して、子どもたちの感性を育てます。</li> <li>◆人と人との触れ合いの中で、親しみを持って挨拶できる環境を作ります。</li> </ul>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>保育のプロとして専門的な知識を高め、自信をもって仕事に取り組んでほしい。また、一人一人責任感をもち、自分で考え判断できるようになることにより、仕事に対するやりがいをもってほしい。</p> <p>保育を必要とする乳幼児に対しては、「一人一人を大切にし、生きる力を培う保育」に取り組み、その保護者と一般住民に対しては、「安心できる子育て支援環境」を提供することで、調布市における「子育て支援の提供拠点オンリーワン」を目指します。</p>

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯98(在籍児童数119)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数

98

共通評価項目による調査対象者数

98

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

55.1

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、園に対する満足度は「大変満足」53.7%・「満足」37.0%の計90.7%と高い値を得ており、設問別では「急な残業等への配慮」「整理整頓・清潔」「プライバシー保護」など全16問中11問で80~90%台の高い支持を得ている。それ以外の設問でも、概ね70%前後の支持を得ている。  
自由意見では「食育・体育指導・造形教室・クッキングなど、子どもの教育・成長に関するプログラムを組んでくれる」「笑顔で子どもに接してくれ、クラスの担任の先生だけではなく、園全体で子どもを見ていてくれる」「幼児クラスは保育園のHPでその日の保育内容を先生のコメントと一緒に掲載してくれ、開放的なランチルームがあって子どもも食事が楽しいようだ」などの声が寄せられている。  
さらなる向上を望む意見としては設備、保育内容、保護者の個別事情や就労への配慮、安全管理・保健衛生、職員の接遇マナーに関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	43	8	2	1
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が81.1%、「どちらともいえない」が15.1%、「いいえ」が3.8%となっている。 自由意見は8件で、「魚を給食でたくさん出してくれてうれしい」「個別状況に対応してくれる」のほか、食事の量やメニューなどについて、さらなる向上を望む意見があったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	8	0	3
「はい」が84.3%、「どちらともいえない」が15.7%となっている。 自由意見は6件で、「公園や園庭、公共機関など工夫して出かけてくれる」などのほか、戸外活動のさらなる充実を望む声も見られたが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	3	1	11
「はい」が90.7%、「どちらともいえない」が7.0%、「いいえ」が2.3%となっている。 自由意見は6件で、「電話対応も感じがよく、配慮して返事してくれている」「とてもありがたく思う」などのほか、お迎えの遅れに対する融通性について、さらなる配慮を望む声も見られるが、実数値からは高い信頼が得られていることがうかがわれる。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	40	9	4	1
「はい」が75.5%、「どちらともいえない」が17.0%、「いいえ」が7.5%となっている。 自由意見は8件で、外部侵入対策や設備面、保育中の安全管理について、懸念や要望が挙げられている。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	46	5	2	1
「はい」が86.8%、「どちらともいえない」が9.4%、「いいえ」が3.8%となっている。 自由意見は8件で、「一年間の予定表があるので、仕事の調整ができて助かる」などのほか、各家庭の負担や就労等の事情に対するさらなる配慮について、さらなる向上を望む意見があったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	7	3	1
「はい」が81.1%、「どちらともいえない」が13.2%、「いいえ」が5.7%となっている。 自由意見は5件で、「ノートのやり取りや直接の会話などで大変よくしてもらっている」「とてもあると思う」のほか、コミュニケーション機会の設定などについて、さらなる配慮を望む意見があったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	42	8	1	3
「はい」が82.4%、「どちらともいえない」が15.7%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は5件で、「相手の立場に立った気持ちで相談にのってくれる」「忙しい中でもしっかりと聞いてくれる」などのほか、職員の傾聴姿勢について、さらなる配慮を求める声もあったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	3	1	0
「はい」が92.6%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は3件で、「日中、夕方は本当にきれいで気持ちよい」のほか、各室内の清掃などについて、さらなる配慮を望む声も見られたが、実数値からは高い満足が得られていることがうかがわれる。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	38	7	9	0
「はい」が70.4%、「どちらともいえない」が13.0%、「いいえ」が16.7%となっている。 自由意見は12件で、職員の日頃の接遇マナーや服装・身だしなみ等について、さらなる向上を求める声が寄せられている。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	47	5	1	1
「はい」が88.7%、「どちらともいえない」が9.4%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は6件で、「保護者の就労状況にも配慮したスタンスで、詳しい状況を教えてくれたり、お迎えもある程度待ってくれる」「病院を教えてくれたり、とても信頼できる」などのほか、ケガや体調急変時の保護者への連絡などについて、さらなる配慮を求める意見が見られたが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	34	14	1	5
「はい」が69.4%、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は5件で、子ども間のいさかい等の際の当事者（保護者）への情報提供、子ども一人ひとりへの配慮や目配りなどについて、さらなる向上を望む声が寄せられている。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	45	8	1	0
「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が14.8%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は3件で職員の子どもへの対応について、さらなる向上を望む意見があったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	48	2	1	3
「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が3.9%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は2件で、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声も見られるが、実数値からは高い信頼が得られていることがうかがわれる。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	7	2	1
「はい」が83.0%、「どちらともいえない」が13.2%、「いいえ」が3.8%となっており、昨年度（「はい」65.6%）に比べて改善が見られる。 自由意見は4件で、毎日の保護者への子どもの様子や保育内容等に関する報告・伝達などについて、さらなる向上を望む意見があったが、実数値からは概ね支持が得られていることがうかがわれる。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	37	8	4	5
「はい」が75.5%、「どちらともいえない」が16.3%、「いいえ」が8.2%となっており、昨年度（「はい」58.5%）に比べて改善が見られる。 自由意見は3件で、「今まで不満に思ったことはない」のほか、不満・要望等に対する柔軟な対応などについて、さらなる検討を求める意見が見られた。				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	11	3	18
「はい」が61.1%、「どちらともいえない」が30.6%、「いいえ」が8.3%となっている。 自由意見には記入がなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>9/9</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えるしている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	掲示やしおり、HP等により、保育理念・目標等の職員・保護者への理解を図っている 園及び職員の使命を文章化した「ミッションステートメント」及び保育の理念・基本方針・目標を定め、玄関掲示や保護者向けの各種媒体等へ明記している。職員には採用前研修で周知の機会を設け、内部研修や会議でも理解の浸透を図っている。さらに職員の名札裏にも記載し、日常的な意識継続を促し、理解をさらに深めようとしている。保護者には入園説明会や懇談会で説明し、「園のしおり」や園便り等にも掲載して理解を求めている。なお、理念等の記載順序や表記に記載媒体により異なる点については、検討の余地もあると思われる。	
	経営層の役割・責任を明確化し、園及び法人においてその指導力の発揮に努めている 経営層の役割・責任・権限を「職務基準書」や職務分担表・マニュアルに明記し、全職員に配付のうえ周知を図るほか、職員会議や個別指導を通じた周知に努めている。経営層を含む全職員が「自己申告書」で自らの役割の振り返りと責務の再確認を行うとともに、経営層からのキャリアアップに向けた助言や職員の意向把握などにもあたっている。また園長は事業計画の推進、経営や運営事項の統括管理のほか、職員会議や朝礼屋礼等での指導、保育日誌の確認など、日常業務でも指導力の発揮に努めている。	
	重要案件を所定の手順で決定し、多様な方法を用いて保護者・職員に周知している 法人に係る重要案件は理事会で、園内での案件は毎月の常勤職員による職員会議において報告・検討・決定している。なお、朝夕会議では短時間職員も加わるなど複数職員による決定を原則としている。職員には緊急度・重要度に応じて職員会議・朝礼・事務室掲示板・園内ネットワークの併用で、保護者には園便りや園・各クラスの掲示板、玄関モニターやHPを用いて伝えるほか、送迎や懇談会の機会にも口頭や資料等の配付で周知を図っている。新設園のため新人や短時間職員層に至るまでの決定事項の周知と理解のさらなる浸透を課題としている。	

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p><b>第三者評価の受審・公表等さまざまな情報開示に取り組み、透明性向上に努めている</b> 職員の守るべき法・規範・倫理を就業規則や各規程に明示し、「城山保育マニュアル」「職員のしおり」に綴じ込んで全職員に配付し、周知を図っている。園内ネットワークを通じて最新のものを閲覧できる仕組みを備え、必要に応じて行政や福祉・保育関係団体等からの情報の回覧も行っている。HPには法人決算や詳細な園情報を掲載するほか、昨年は利用者調査を実施後に結果を公表しており、今年度は第三者評価を受審してこの結果を「とうきょう福祉ナビゲーション」や園のHPに掲載し、透明性の確保と向上につなげていく予定である。</p> <p><b>多様な子育て支援事業に取り組み、園の機能や専門性を地域に開放している</b> 地域の子育て家庭を支援するための取組として、毎日の園庭開放・パートナー保育・子育て相談・育児講座のほか、行事の開放や給食体験等も実施し、園児との交流の機会と情報交換の場を設けている。ボランティアについては、受け入れに関する基本姿勢や担当者、進め方や注意事項等を関係規程に定めて職員に周知を図り、参加者には事前のオリエンテーションでの説明後に、利用者の情報や秘密事項の守秘義務等に関する誓約書を求めている。また「地域チーム」が身体測定を兼ねた健康相談を行うことでさらなる地域への還元にあっている。</p> <p><b>地域の各機関と連携し、子どもの発育や虐待等に関する協働に取り組んでいる</b> 市の子育て支援課との連携のほか、市内の施設長会・看護師部会・地区防災委員会、幼・保・小連携懇談会等に参加して行政の伝達受領や情報交換、個別ケースの検討等を行っている。また発達支援のための療育施設や子育て支援センター等との交流、児童相談所との連携などに努めるとともに、学童や児童館との連携を図りながら園の子育て情報の提供と共有を深め、定期的に話し合いの場を設けている。今後はさらなる地域ニーズを踏まえ、それに見合った活動ができるか否かを検討をしている。</p>		



カテゴリ-3	
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)	
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	
<b>サブカテゴリ毎の標準項目実施状況</b>	<b>8/8</b>
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;"><b>評点(〇〇)</b></span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;"><b>評点(〇〇〇)</b></span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;"><b>評点(〇〇〇)</b></span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
カテゴリ-3の講評	
苦情解決制度などの仕組みを整え、保護者個別の要望・苦情等の解決に取り組んでいる 園長を解決責任者、主任を受付担当者とする苦情解決制度を整備し、第三者委員とともに「園のしおり」やHPにその利用方法を掲載、玄関カウンターに案内を設置している。保護者には入園時に説明し、意見・要望・苦情については担任・主任・園長が連携して解決や回答を行っている。また日常において寄せられた意見・要望も真摯に受けとめて職員会議で話し合ったり、短期的に解決しがたい場合は関係機関と連携したり、園長主任会議を通じて参考意見を求めるなど相談者の気持ちに配慮しながら、個別に面談を行って理解を得るようにしている。 さまざまな手段によって保護者の意向・要望を把握し、その対応・解決に努めている 保護者意向を日々の交流や連絡帳、第三者評価の利用者調査や行事・保育参加後のアンケート、個人面談・懇談会等で把握・整理・集約している。意見や感想は職員会議で検討し、職員の「保護者チーム」を中心にサービスの改善につなげている。具体的には在園児の祖父母を園に招いて在園児と遊ぶ仕組みなどさまざまな意向把握の工夫を行う予定である。訪問調査当日は意見箱が未設置であったものの、その後に玄関モニタ付近に設置し、対面以外での要望を受け付けられる仕組みを整えている。	
地域ニーズや福祉業界の動向を各媒体・研修等から把握し、中期計画に反映させている 体験教室でのアンケートや地域文化センター祭りへの参加、園庭開放・行事等の参加者などから地域ニーズに関する情報や福祉の動向収集に努めている。現状では職員の資質向上や園内クラス体制の確立に注力しているところであり、地域との関係性やニーズへの対応は今後の課題となっている。また事業環境に関する情報は保育関係団体から収集、管理者研修や国、東京都のHP閲覧などで把握しており、プロジェクトチームにより中期計画における経営改善と諸施策の遂行へと反映し、行政の動向や法人全体の方向性を園長主任会議を通じて共有をしている。	

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		

サブカテゴリー2(4-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>中期計画と年間事業計画を策定し、各計画が連動した実行・見直しを図っている</p> <p>今期からの3年間の計画に3年間計画が策定され、5つの成果領域と23の戦略的取組課題について、具体的取組内容を記載した期間を図示してスケジュールと担当を定めて全職員の参画につなげている。計画の策定に際しては保護者や職員の意向、事業環境等を踏まえた計画の見直しも行われ、行事や研修、子育て支援等、より具体的な取組を示している。この実行に関してはPDCAサイクル手法を用いて各担当・プロジェクトチームが行い、定例会議で進捗を確認し、確実な推進につなげる仕組みとしている。</p> <p>計画ごとに目標指数を定めて進捗管理を行い着実な実行につなげるよう努めている</p> <p>職務分担表やマニュアルに役割分担を示し、グループウェアを用いてスケジュールの共有化と進捗管理を行い、着実な計画推進に努めているが、グループウェアをさらに有効活用できる部分も見受けられるため、今後のさらなる情報共有や効率化も期待される。各プロジェクトチームが準備・共有・検討・記録に取り組み、会議で報告するとともに、全体会議では職員・保護者からの意見を踏まえた反省を行って次年度計画に反映させている。なお、職員の勤務形態や子育て事情等を考慮した活動調整や保護者の事情を配慮した相談受付の仕組みの確立を予定している。</p> <p>さまざまな取組によって、組織としてのリスクへの対応力向上と安全確保に努めている</p> <p>「SHELL分析」を用いた事故等の再発防止と会議やグループウェアを通じた職員間の共有に取り組むほか、安全の確保・向上に関する基本をマニュアルに定め、「乳児／幼児クラス用事故防止チェックリスト」による設備・遊具の点検を毎月実施するほか、ヒヤリハット報告書の事例共有やBCP研修による緊急時対応の向上を図っている。警察・消防等と連携した訓練、園医・保健所との連携した感染症対策等も行い、保護者には園便りや緊急メール、HP等で情報提供をしている。</p>		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>8/8</b>
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
<b>評価項目1</b> 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	
<b>評価項目2</b> 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	
<b>カテゴリ5の講評</b>		
<p>「職務基準書」や「人事考課表」、「自己申告書」等を活用した育成と処遇を行っている</p> <p>職務基準書とOJTマニュアルに示す人事制度方針に基づく育成や処遇向上、保育の質向上に活かすことを目指している。職員は面接・実技などの選考試験と主任・園長の検討会を経て決定し、園長が採用面接や面談時の要望等に本人の成長度や新年度体制編成時の人員構成状況等を加味して配置を決定している。年2回の面談は前期が主任、後期が園長と役割分担している。またこれと連動した仕組みとして職員自身による目標設定と自己評価に園長・主任による考課を加味した園長面接による客観的な振り返りと指導を行い、処遇に反映している。</p> <p>個別の研修・育成計画のもとで、現場での学びや研修派遣による資質向上を図っている</p> <p>園長が面談を通じて各職員の意向を把握し、園の要望を伝えながら関わり・支援等の視点から助言を行ったうえで年間の研修・育成の計画を作成し、勤務体制や各クラスの状況等を考慮して内外の研修への参加を促しつつ、個々の希望する研修の受講も奨励している。またOJT制度を設け、新人を主任・担当クラス保育士が指導するほか、各職員チームの活動も育成の場とするなど、実践を通じた資質向上を重視している。研修後は報告書や資料の回覧、報告会等で成果を共有するほか、園長が実技等の実践後の成果を面談時に確認している。</p> <p>職員の気づきや工夫の共有化とやる気、働きがいの向上に努めている</p> <p>職員の裁量範囲を職務基準書に定め、園長・主任への報告・連絡・相談を必須とし、気づきや工夫は会議やプロジェクトチーム活動等を通じて組織全体の資質向上に繋げている。時間管理の必要性を感じ、業務整理や負担軽減、効果的な休暇取得によるワーク・ライフ・バランスの確立を掲げ、自己の目標設定によるモチベーション向上、職員企画のレクリエーションや福利厚生組織への加入、就業状況・健康状態等の把握と面談時の助言など、働きやすくやりがいのある職場づくり、チームワーク作りに努めている。</p>		

7		カテゴリ-7	
情報の保護・共有			
サブカテゴリ-1(7-1)			
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>7/7</b>	
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評			
<p><b>園内におけるデータ・書類情報等のセキュリティ管理の仕組みを整備している</b>                  PCネットワークとサーバによるデータ一元管理と情報の共有化を図っている。運営管理業務にはアクセス制限を掛け、職員のID・パスワードによる日常的なログ管理も行っている。園児管理ソフトを導入し、職員が入力した個々の子どもの情報はサーバに保存され、全職員の共有を可能とするなど、業務の迅速化・効率化を図っている。カメラやビデオ等の可動データ、文書による情報は適宜整理のうえ、施錠が可能な書庫に保管している。また職員室にもセキュリティーカードによって入室制限をかけることで、普段から情報流出のリスク対策を行っている。</p> <p><b>情報公開・開示規程、個人情報保護規程を整備し、関係者に周知している</b>                  個人情報の取扱いや利用目的、情報開示の際の基本姿勢と開示範囲、利用者への配慮等を含む事項等は情報公開・開示規程と個人情報保護規程に明示し、職員にはマニュアルや「職員のしおり」に綴って配付・周知している。保護者には「園のしおり」に「個人情報保護方針・プライバシーポリシー」として記載して周知を図るとともに、玄関掲示とHPに掲載することで相互理解につなげている。規程内に記載されている別紙様式、情報漏洩時のリスク対策など、一部課題も見られており、今後の対応に期待したい。</p> <p><b>職員・ボランティア等への個人情報保護と守秘義務に関する周知と理解を徹底している</b>                  園内外の研修や勉強会を通じて各職員に個人情報の保護と日常業務における適正な取り扱いの徹底を図るとともに、全職員から守秘義務に関する誓約書の提出を受けている。ボランティア・実習生には受け入れ時のオリエンテーションを通じて業務上で得た個人情報を外部に漏らしてはならない旨の説明を行ったうえで誓約書の提出を求めている。</p>			

カテゴリ-8	
8 カテゴリ1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
中期計画に沿った各種の業務改善、理念の周知や安全面の向上などに取り組んでいる 新規に開園した園ということで園の運営方針のさらなる周知・理解に取り組んでいる。園の目標や「ミッションステートメント」を掲示し、「職員のしおり」やマニュアルにて規範の明示を行ったり、法人全体の重要事項や考え方を周知するなどさまざまな工夫をしている。26年度から新たに3年間策定した中期計画に沿ってプロジェクトチーム活動に積極的に取り組み、安全面においてはBCP担当を中心として災害発生時でも事業を継続可能にするためのBCPマニュアルを作成し、法人研修によって全職員の意識向上につなげている。また避難訓練実施やヒヤリハットの報告書など、次年度に向けた仕組みの確立を図っている。	
サブカテゴリ2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
組織の連続性の軸となる人材育成のために多様な取組を継続している 開園前にビジネスコンサルタントに依頼して人材育成の研修を実施し、人材育成とOJTの改善に取り組んでいる。全職員が研修を1か月に渡って受けたことにより、開園時にはチームワークの意識を高め、スムーズな運営や保育へとつなげている。また職員全員が保育カウンセラー目指し、カウンセラー研修に継続的に受けている。関係団体が開催する管理者研修に参加したり、園内ではプロジェクトチームの活動が新たな保育サービスと改善につなげられ、業務成果だけでなく職員の育成やモチベーションの向上、組織力の強化につなげている。法人の全体研修に参加し、学びを深めるほか、個人の意見や発想を吸い上げる機会を増やす工夫にも取り組んでいる。	
サブカテゴリ3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
情報共有によるコミュニケーション促進や保育面の各種改善に取り組んでいる 組織内の情報の伝達と共有が日常の業務実施に不可欠であることを継続的に意識づけるため、園児管理ソフトやグループウェアを活用した管理を進め、朝礼・昼礼時の会議録をはじめ気付きや工夫についての自由意見、情報などを掲載することで、全職員での情報共有と会議の更なる効率化・充実化を目指している。また、短時間職員にも会議録の閲覧による情報共有を促すことで、短時間職員同士も含めて情報を伝達し合う仕組みの定着を図っている。保護者向けの情報は玄関モニタと事務室前の壁面掲示の2カ所を活用して情報の提供をしている。情報提示を2カ所に制限したことにより、保護者が閲覧しやすくなっている。また、出退勤のカード記録器の前にパソコンを設置することによって、職員が出勤してすぐに情報を確認することができる工夫も行っている。	

## サブカテゴリー4(8-4)

事業所の財政等において向上している

## 評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

## 改善の成果

新設に伴う一過的な資金支出から開園後の健全な財務基盤確保に努めている

社会福祉法人の社会的役割と責任に鑑み、新会計基準を採用し法人HPで財務内容を公開するなど透明性のある健全な財務内容の構築に努めている。直前期の決算は新設園としての1期目にあたり、施設設備整備による資金支出と開園月の遅れによる事業活動収入の減少という一時的な要因があったが、繰越資金はプラスとなっている。なお決算書では一部大科目に予算支出超過費目が見られることから、今後はより適正な予算統制を図ることが課題と言えるが、今期に関しては訪問調査日現在、事業活動収支差額は好調に推移しており健全な財務状況が確保されつつあると考えられる。

## サブカテゴリー5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

## 評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

## 改善の成果

さまざまな手段で把握した保護者の意向や地域のニーズを園運営の向上へと活かしている

第三者評価に伴う利用者調査や、保育参加感想や連絡ノートなどから利用者の意向を常に把握できるようにしている。業界情報の把握と経営への活用に関する研修に積極的に参加し、情報収集に努めている。研修等で得た情報は法人全体研修や研修報告会などで職員に周知し、会議で検討・改善が必要なものに関しては、改善及び報告できるようにしている。利用者調査の結果などをもとに、プロジェクトチーム「保護者チーム」を中心にサービス向上に取り組んでいる。家庭の価値観や保護者の特性が多様化する中で、各職員が保護者への対応・傾聴力を高めることを課題として、数名の職員を「保育カウンセラー」研修に派遣させるなどの取組も行っている。また子育て家庭にむけて毎日園庭開放を行い、親同士の情報交換場所として、また園の給食を「キッズランチ」というネーミングで地域の方に給食体験をしてもらうなど地域子育て支援面の充実を図っている。他にも保育士がさりげなく家での様子を聞きながら、気になる方の相談に乗れるような働きかけに努めている。



II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	サブカテゴリ-1の講評	
	<p>パンフレット等の配布物とホームページにより入園希望者に園の情報を提供している</p> <p>A4二つ折りのカラー印刷のパンフレットには、園舎のコンセプトを写真を織り交ぜ説明するとともに、ミッションステートメント(使命の文章化)のほか、アクセスマップを記載し、見学者へ配布している。このパンフレットのほか、希望者には入園決定者向けの情報全般を網羅した説明資料「園のしおり」、園便り「しぜんとなかよし」や地域向け広報紙「らすく」を手渡している。また園のホームページ(HP)ではこれらの情報のほか、日々の園の活動を知ることができるなど、入園前の施設選択に資する情報が在宅でも入手できるようになっている。</p> <p>複数の配布・広報物をホームページを通じ、積極的な情報提供を行っている</p> <p>調布市の子育て支援案内冊子などの各種媒体で園の基本情報を伝えるほか、地域向けの広報紙「らすく」を公民館・市役所に常置したり、地域支援利用者に手渡すなどしている。園情報の発信として、近隣の小学校・公民館には園便りの提供もしている。またホームページにも基本情報に加え、入園決定者向けの説明資料「園のしおり」もすべてダウンロードできるようにするなど、入園に際して必要な情報全般を網羅しており、園以外の場所や在宅においても園情報が入手できるようにさまざまな情報発信が行われている。</p> <p>見学を要望に応じて受け入れ、保育や園舎の特色を詳しく伝えている</p> <p>見学は子どもの様子や園の保育活動を見やすい平日10時頃からを基本に、希望者の都合に応じて個別に受け付けている。見学に際しては園長・主任・副主任が説明にあたり、園内を案内する形で進められている。園内環境や一人ひとりを大切にする保育の理念、園舎に込めた思いのほか、園庭・ランチルーム・屋上環境などの園の設備や保育の特色、保護者が関心を寄せる事柄について都度質問に応じながら説明するとともに、一時保育や子育て支援事業の説明やお誘いのほか、子育てに関するアドバイスや子育ての参考となるような話題も伝えている。</p>	

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園決定者には「園のしおり」等をもとに必要な情報の説明を行っている</p> <p>入園決定者への説明会を実施し、利用開始に必要な情報を伝えている。説明会当日は、プレゼンテーション形式でミッションステートメント(使命の文章化)や保育方針・保育目標を園長が説明し、入園生活の開始後に困らないように保育に関するお願いごとを保育士から説明している。「園のしおり」を事前に配付し、不明点について質疑応答の時間を取っている。入園式後には別日に個別の面談を行い、再度不明点などの説明を行っている。また園便りなどへの写真の使用や行事でのビデオ撮影についての同意を確認している。</p> <p>保護者との個別面談を行い、子どもや家庭の情報を把握・記録している</p> <p>説明会後に別途日程を調整して個別の面談を行っている。保護者が記入・提出する児童票・「新入園児生活状況調査票」などをもとに担任予定者が面談し、家庭環境や子どもの発達状況などを把握するとともに、アレルギーや既往症等において配慮が必要な場合は、専門職も同席して、現状の把握と同意形成に基づく今後の対応策について話し合っている。面談の様子は「新入園児面接記録」に記録、これらの新入園児の情報を職員会議で報告し、議事録に記録するとともに、クラス会議でもスタッフ内で対応を協議するなどし、情報共有の徹底につなげている。</p> <p>「慣れ保育」で入園時の負担軽減を図り、利用終了後の支援継続にも努めている</p> <p>入園当初には「慣れ保育」として短時間から徐々に長時間に移行して子どもが無理なく園生活になじめるようにしており、できるかぎり保育士との一対一の対応に努めている。また、保護者の不安軽減として必要に応じて、保護者の離乳食やミルクのあげ方を見せてもらうなどして、家庭生活とつながった保育開始となるようにするほか、迎えの前に遊んでいる姿を見もらうなどの配慮も行っている。また卒園時には保育所保育要録の作成に加え、希望に応じて「就学のための支援シート」を作成し、就学後の生活に役立ててもらっている。</p>			

サブカテゴリ3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
<b>評価項目2</b> 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している		○非該当

<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー3の講評</b>		
<p> <b>子ども一人ひとりの心身状況等を把握し、日々の支援に役立てている</b>          入園時に保護者提出書類や面談等で子どもの心身状況等を把握するほか、入園後は送迎時の連携や連絡帳等で子どもの様子や保護者からの意向等も把握している。また児童票には発達経過記録のチェックを毎月実施するほか、成長の記録として、0歳児は毎月、1歳児は2ヶ月に1度、2歳以上児は期ごとに養護や教育、情緒なども含めた子どもの全体的な姿や成長過程等を記録している。これらも踏まえ、0～2歳児は個別指導計画へと反映し、3歳以上児においても集団の中での個別配慮事項として日々の支援に役立てられるようにしている。       </p> <p> <b>保育課程をもとに年・月・週日の指導計画へと展開している</b>          保育課程をもとに年・月・週日の指導計画へと展開している。計画は子どもの様子、配慮や育ちなどを各クラスで共有・検討しながら立て、これを乳児・幼児のカリキュラム会議に持ち寄り、月・週日などの計画の振り返りと次への反映に向けた検討を行っている。また長期・短期の計画をさらにつながりを持たせるよう、主任が助言・指導にあたり、保育課程に園の独自性をさらに盛り込めるよう、見直しを進めている。なお、玄関モニタには週案における活動のねらいや具体的な指導方法等を示すほか、当日のクラスの様子も保護者へ伝えている。       </p> <p> <b>各種会議や共有ツールを用いて、子どものさまざまな情報を職員間で共有化している</b>          当番以外の職員全てが参加する全体会議は月2回実施されており、子ども一人ひとりの状況やクラスの様子などの共有、行事の検討など議題内容を分けることで意見交換や検討が深められるようにしている。また日々の生活の中では朝礼・昼礼等を通じて子どもの姿や育ち、その日の健康状態や家庭からの伝達事項などを伝え、全職員が同じように子どもへの支援や配慮ができるようにしている。なお、園内ネットワークでも共有化するとともに、職員用の「お迎え伝達表」も併用するなど、複数の情報共有ルールを用いて園内での情報共有の徹底に努めている。       </p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p><b>個人情報の取り扱いや個々の状況に応じた子どもの羞恥心への配慮に努めている</b></p> <p>個人情報に関しては利用目的を口頭で説明するほか、外部とのやり取りがある場合には掲示での周知によって同意の確認を行い、申し出によって望まない方への個別の配慮もしている。子どもの羞恥心への配慮に向け、室内及び廊下のトイレは周辺からの視野を防げるように設備の配置上で考慮するとともに、幼児のトイレには扉を付け、年齢によって生じうる羞恥心の芽生えにも個々に配慮できるようにしている。またオムツ交換の場所を決めて行ったり、プール時には周辺からの視野を遮ったり、水遊びは着衣のまま実施するなど多様に配慮している。</p> <p><b>一人ひとりを尊重した支援の徹底に向け、保育所としてさまざまな取組を行っている</b></p> <p>子どもの呼び方や叱り方を含む日常の言動、着脱時等の配慮など、子どもへの接し方については「保育士の対応基準チェックシート」をもとに各職員の内省の機会を設けており、年2回全職員で振り返ることとしているほか、新人職員には別に主任からの指導が行われている。0～2歳児(必要な幼児に対しても)には個別指導計画を立て、家庭での生活や発達を考慮した関わりにも努めるほか、子どもが集団活動にうまく関われない時などは、場所や対応する職員を変えて気分転換させるなど、できる限り一対一で思いを受け止めるよう心がけている。</p> <p><b>虐待の早期発見や適切な対応に向けた体制を整えている</b></p> <p>全職員が所持するマニュアルに虐待の定義・発生要因や早期発見のポイント、相談・通告の流れなどが掲載され、リスクマネジメントの見地からも確認がなされている。また「園のしおり」にも虐待に関する章を設け、園の考え方や虐待の定義などについて保護者とも理解共有を図っている。疑いや事例の発見時にはケースに応じ、児童相談所や子ども家庭支援センターに通告することとなっている。複数担任によるクラス体制を布き、相互の気づきの共有や望ましい行動や言動などのアドバイスを通して、子どもを見る目を養うことにも取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11/11
6 事業所業務の標準化			
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー6の講評</b>			
<p><b>職務全般を網羅したマニュアルを整え職務の標準を示している</b></p> <p>園の理念・方針・目標と役割分担表、職種・職位ごとの業務における基本心得と必要な研鑽を示す「職務基準書」のほか、保育実践や保健衛生・安全管理、接遇の各種マナーなど当園職員として求められる考え方や実践手順の全般が網羅されているマニュアルは、事務室内の皆が確認できる場所に常置され、いつでも確認可能となっている。園庭活動と各公園、感染症に関しては携帯可能なラミネートカードに綴って各室に常備し、随時活用できるよう工夫している。また法人共通の職員手引きとして「職員のしおり」も作成され、職員間で読み合わせを行っている。</p> <p><b>サービスの向上を目的とした業務水準の見直しがさまざまに行われている</b></p> <p>サービスの基本事項や手順等の見直しは、現場からあげられた提案を職員会議で検討し、見直しの結果は、全職員がアクセス可能なグループウェアに入力し、情報共有の徹底を図っている。全体のマニュアルは、法人本部で検討し、書き直しを年1回行うこととなっている。懇談会や利用者調査等から保護者意向を把握・検討し、できる限りの対応に努めている。また事故防止チェックリストを月一回見直ししており、その際系列園に蓄積されたデータを活用するなど、開設まもない園の基準作りにさまざまに取り組んでいる。</p> <p><b>内外のさまざまな研鑽機会を活用し、保育の質の向上が図られている</b></p> <p>避難訓練は実施時間や設定を毎月変えて実施しているほか、年齢に応じた事故チェックリストを使って担任同士で確認し、救命救急は全員が受講して緊急時に備えるなど、安全保育に向けて職員の質の向上に努めている。また職員の質の向上への取組として外部研修への参加を積極的に進めている。研修後は報告を行い、技術や知識等学びの共有にも努めている。日常的なOJTとして、複数担任のクラス編成から職員間の助言・指導が行われるほか、カリキュラム会議や指導計画案の話し合いでも、園長・主任からの助言・指導が行われている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的な生活や活動が行えるように環境構成の工夫を行っている</p> <p>子どもが主体的に集中して遊び込めるように2室の保育室を準備し、食事・睡眠・遊びなどでスペースを使い分け、身体を動かしたり、畳やマットなどを敷きゆったりと過ごせるようにするほか、子どもの興味・関心に応じて自らが手に取り、さまざまな発達を促す玩具を取り揃えるなど環境構成を工夫している。また2歳以上児は絵カードで生活の流れや約束ごと等が視覚でもわかるようにするほか、4・5歳児は学校スタイルで机を配置し、朝の会では椅子に座って話を聞く時間を設けるなど、日々の積み重ねで就学に向けた準備が自然となされている。</p> <p>年齢に応じて集団での関わりをひろげたり、異文化に触れる機会を設けている</p> <p>4・5歳児は一部屋を柵で仕切り、自由遊びの際に相互に行き来するほか、早寝早起きプロジェクトの中では年長児が年下の子ども前で体操を踊ったり、子ども同士で関われるようにしている。また散歩や合同保育のほか、ランチルームで4・5歳児と一緒に食事をしたり、行事の際には3歳以上児と一緒に会食をするなど、年齢に応じて集団のひろがりを持たせながら、年下児への関わり方を学び、いたわりの心を育めるようにしている。また世界の国旗カードや迷路の絵本などを準備し、外国の文化に触れるとともに、多様性を認め合えるようにしている。</p> <p>子ども一人ひとりへの丁寧な配慮や支援に園全体であたっている</p> <p>子ども同士のトラブルに関しては双方の子ども気持ちを汲み取り、職員が代弁するほか、年齢によっては見守り、ケガにつながるような時にはすぐに止めて気分転換をできるようにしたり、子ども自身が考え、相手に気持ちを伝えられるように配慮にあたっている。これらの後には大人の関わりや環境等を分析し、その後の事故発生予防へとつなげている。また配慮の必要な子どもに対しても各クラスで基準配置より多めの職員を配置し、細やかに子どもへの配慮ができるようにするほか、職員間の情報共有を密に図りながら、園全体で支援できるようにしている。</p>			

2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>送迎時の保護者とのコミュニケーションに努め、多様な媒体で子どもの様子を伝えている</p> <p>朝の受け入れの際には特に前日の子どもの体調等や家庭での子どもの状況などを保護者から細やかに聴き取るほか、連絡帳の確認や職員による視診などでも子どもの様子を把握できるようにしている。またお迎え表で時間や送迎者の変更がある場合には保護者に記載してもらいほか、職員用の「お迎え伝達表」に保護者から聴き取った子どもの情報や日中の子どもの様子を記載している。お迎え時には保護者へ園での子どもの様子を直接伝えるほか、連絡帳や玄関モニタ、HPなどさまざまなツールを活用して情報発信をしている。</p> <p>子どもが自発的・意欲的に取り組めるような配慮や環境作りに努めている</p> <p>基本的な生活習慣の自立に向け、子どもが自発的に生活や遊びで発達を促せるような環境を作り、子どもの発達や気持ちに応じて、トイレの空間に慣れて便器に座するなど自然とできるような環境と職員の配慮に努めており、ベンチを準備して自分でできるようにしたり、パンツ等も自分で手に取れるようにするほか、トイレトレーニング表を掲示して排せつの間隔を確認しながら、子どもの意欲や発達に応じて進められるようにしている。また歯が生えてきた頃から歯磨きを開始し、ご飯後の口腔内を衛生的にできるように職員が仕上げ磨きをするなどしている。</p> <p>子ども一人ひとりの状況に応じた睡眠・休息が確保できるようにしている</p> <p>子どもの生活リズムや体調等を考慮し、早めに昼寝ができるようにしたり、朝夕の時間帯でゆったりと過ごせるようにするなど、個々の状況に応じた睡眠・休息ができるようにしている。午睡時にはカーテンを閉めるなど室内の明るさを調整し、眠りやすいような環境作りに努めている。また「健康チェック表」に体位等の確認をし、10分置きに確認するほか、満1歳までを目安としてプレスチェックの機器を用いて睡眠時の呼吸状況を記録し、安全面に配慮している。なお、5歳児は1月頃から昼寝をなくし、就学に向けて生活リズムを整えている。</p>		



3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標を踏まえて具体的な計画に落とし込み、日々の保育実践にあたっている

保育目標を踏まえて具体的な計画に落とし込み、日々の保育実践にあたっている。一人ひとりの発達状況や特性などを把握し、会議等で共有することで個別の適切な支援ができるようにするほか、子どもが主体的かつ意欲的に遊べるように興味・関心にそって発達を促すさまざまな玩具の充実やコーナー設定の工夫をしている。また積極的な戸外活動を取り入れ、散歩や栽培活動などで自然に触れるほか、日々の生活での異年齢の関わりから相互の育ち合いが促されたり、行事の中で皆で協力してやり遂げた達成感から自信へとつなげている。

責任感や人の役に立つ喜びを感じるなど、集団での幅広い活動が展開されている

グループでの活動として当番活動があり、野菜の水遣りや給食の配膳・準備などを子どもが役割を担い、責任感や人の役に立つ喜びを味わえるようにするとともに、年下の子どもの憧れにもなっている。また夏季プールの際には系列園の子どもが来園し、一緒に遊んだり、給食を食べるほか、一緒にプラネタリウムに出かけたり、公園で焼き芋交流を行うなどより幅広い集団での活動が体験できるようにしている。さらに4・5歳児が電車に乗って出かけ、公共のマナーを知る機会とするとともに、ミュージカルを見て本物を感じ、感性を豊かにしている。

積極的に戸外活動へ出かけ、心身の成長・発達や探求心を育てている

体育指導(3歳以上児対象)では跳び箱や平均台、縄跳びなどに取り組み、楽しみながら心身の発達を育むほか、屋上や園庭も積極的に活用しながら、固定遊具やサーキット遊び、かけっこなど身体を動かして遊べるようにしている。また隣接する広場を活用して、高低差のある中を走ったりして足腰の発達へとつなげるとともに、落ち葉や木の実などで見立て遊びをしながら季節を感じたり、自然物を探り入れた制作活動も行われている。さらに散歩に出かけて身近な草花や生き物などの発見を喜び、図鑑や絵本で調べるなど、探究心の高まりへとつながっている。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事等を通じて、頑張る意欲を高め、自立心を育てている</p> <p>お泊り保育の前日には年長児が商店に出かけて夕食の材料を購入し、当日にはカレーやサラダを調理器具を使って各グループで分担して作り、皆と一緒に食べるほか、夜はキャンプファイヤーをしたり、園内探索をするなど、保護者と離れて友達と一晩を過ごし、自立心を育てるとともに特別な思い出となっている。また正月制作からコマ大会へと発展し、コマを回せるように頑張ったり、昔ながらの遊びを体験できるようにしている。なお、日頃の活動の中でも頑張ったことに対してシールを貼れるようにし、子どもの意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>子どもが主体的に関わり、やり遂げた達成感や協力する喜びを感じられるようにしている</p> <p>体育指導(月2回)で跳び箱や鉄棒、マットなどに取り組み、運動会で日頃の練習の成果を発表してやり遂げた達成感や満足感を味わえるようにするとともに、子どもの成長やありのままの姿を保護者と共有している。また発表会は子どもの興味などから劇遊び、手話の歌、合奏などを皆で協力する喜びを体験できるようにしている。これらの行事では子どもが衣装や小道具などを作ることで主体的に関わり、興味を持って参加できるようにするほか、行事後にも余韻を楽しめるようにするなど、日々の生活の延長線上として行事が行われている。</p> <p>在園児と地域の方々との交流やふれ合いを積極的に行っている</p> <p>地域の在宅子育て世帯を園に招き、各クラス持ち回りで一緒に園庭で遊ぶ「お外で遊ぼう会」、年長児が配膳や挨拶をして給食を楽しむ「キッズランチ」のほか、季節行事への参加などで地域の方と在園児と一緒に遊ぶなど、交流が深まるようにしている。また年長児は小学校に招待してもらい、見学や体験で就学に向けた期待感を高めるほか、3歳以上児が児童館へ出かけて地域の方ともふれ合う機会となったり、公共のマナーや遊び方を学んでいる。さらに造形指導での作品を地域の文化祭へ出展するなど、地域との交流や関係性を深められるようにしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>合同保育においても子どもが安心してゆったりと過ごせるようにしている                  人数や状況に応じて合同で過ごしており、夕方の時間帯は0・1歳児は別室、2歳以上児が合同保育を行っている。空間を「静」と「動」で遊べるスペースを分けるなど、安全面にも配慮しながら粘土やパズルなどで遊んだり、絵本をゆったりと読むほか、カルタやゲームなど小集団でも遊べるような環境構成の工夫をしている。また1歳児から各家庭で人形作りに協力してもらい、それをままごと等で使用したり、各生活の場面でもと過ごすなど、物への愛着や大切にすることを育てるとともに、園で一日を過ごす中での子どもの情緒の安定にもつながっている。</p> <p>情報の伝達漏れがないように仕組みを整え、保護者へ子どもの様子を伝えている                  早朝・延長の時間においても伝達漏れがないようにしている。「職員用お迎え伝達表」に保護者から聴き取った子どもの情報や日中の子どもの様子を記載し、これを担任からその日の遅番担任に引き継ぎ、保護者に子どもの様子を伝えている。また遅番時間帯での子どもの様子や保護者からの伝達事項も同伝達表に記入し、前日から翌日までの情報を引き継げるようにしている。なお、お迎え表には時間や送迎者の変更がある場合に保護者に記載してもらうほか、玄関にその日の早番・遅番の担当職員を示し、双方の受け渡し時の円滑化と安心感が持てるようにしている。</p> <p>一日を過ごす中で園内の環境構成を工夫し、子どもが主体的に遊べるようにしている                  0～3歳児の各室は2部屋に分かれており、食事・睡眠・遊びなどのスペースを使い分け、小グループでの活動ができるようにしながら、子どもが落ち着いて過ごし、主体的に遊び込めるよう配慮をしている。また4・5歳児はワンフロアを柵で仕切り、年齢ごとの活動とともに、自由遊びで相互に行き来できるようにしたり、ランチルームで一緒に食事ができるようにしている。さらに廊下には絵本コーナーや形の違う水槽を設置して、観察から探究心を高めたり、図鑑で調べるなど興味・関心のひろがりをもたらされるなど、園内の環境構成に工夫がなされている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが自ら意欲的に食を楽しめる工夫がなされている</p> <p>献立は旬の食材を積極的に採り入れ、素材本来の旨みを味わえるように薄味とし、栄養バランスを考慮した食事を適温で提供できるように心がけている。子どもの食べ具合や様子などを会議等で伝え合い、味付けや大きさなどを次の献立や調理の工夫へと反映できるようにしている。またランチルームでは4・5歳児がバイキング形式で配膳し、おかわりも自分でよそえるほか、食品栄養素の三色分類をわけるなど、自分の体調や身体を知ることにもつながっている。さらに食具の使い方、食事のマナーなども伝え、自ら意欲的に食べられるようにしている。</p> <p>食物アレルギーや離乳食など安全面や個別状況に応じた配慮に努めている</p> <p>食物アレルギーがある場合は、医師の指示に基づき代替食に対応している。入園前・後の面談によって個々の状況を把握し、アレルギー献立を作成し、提供月の前に保護者へ確認・配付している。食事の提供・配膳時にはアレルギーチェック表をもとに調理担当と保育士との口頭及び目視での除去内容の確認を行ったうえで配膳しており、トレイの色や食器の柄を変えて見た目にもわかるようにするとともに、テーブルを別にして誤食・誤配膳のないように努めている。また離乳食に関しても面談等で詳細を把握し、家庭と連携を図りながら個々に応じて進めている。</p> <p>日々の活動と食育の取組が連動され、より身近に食を感じる機会がある</p> <p>給食室はガラス張りになっており、食事を作る様子が見れたり、匂いを感じることで食への期待感を高めるほか、ハロウィンでは給食室にお菓子をもらいに行くことで、子どもがより身近に感じることができるよう工夫している。また園庭には季節ごとに野菜等を栽培するほか、地域の畑では大根掘りや芋掘りをして、後日、系列園の子どもと一緒に公園で焼き芋交流を行っている。さらにお泊り保育では食材の買出しから調理し、皆で食べるといった体験ができるなど、さまざまな食育活動が展開されている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>日常の保育を通じて、感染症・虫歯等の予防や園外活動中の安全指導などを行っている</p> <p>日常的に手洗い・うがいや歯磨きなど感染症の予防や歯磨き指導に取り組むほか、毎月の避難訓練や歯科衛生士による年2回の歯磨き指導のほか、園庭の各遊具や乗り物、砂場・泥んこ活動などでの注意点、各公園についても危険箇所や特色を写真とコメントでまとめ、ともにラミネートカード式の綴りとして各室に設置し、日常の指導に活用している。また身の回りの周辺環境に潜む危険箇所について、「危険学」を応用して衝突や指の挟み込みの危険を粘土や割り箸といった身近な道具を使って、視覚的に感じられるような工夫にも取り組んでいる。</p> <p>看護師と保育士が連携した健康管理・危険回避の活動が行われている</p> <p>保護者からの聞き取りや担任の視診によって子どもの健康状況を把握し、看護師が各部屋を巡回してこれらの確認を行っている。また子どもに体調の変化があれば前日の状況や現状を確認しながら、適切な配慮や対応に努めている。食物アレルギーの場合の対応はトレーの色を変えたり、配膳の際には複数名で確認するなど、誤食防止対策を講じているほか、SIDS予防として睡眠中の安全確認の実施、ヒヤリハット・アクシデント報告を分析して、「起きる前に」が大切との認識を職員間で共有し、保育の実践につなげるなど、事故予防に取り組んでいる。</p> <p>保健便りや随時の掲示など、保護者への保健に関する情報提供に努めている</p> <p>保護者への保健に関する情報提供として、「園のしおり」に感染症やSIDSのページを設けているほか、感染症の発生時には掲示板等で発生状況を知らせるほか、近隣での流行情報も伝えている。家庭内での蔓延予防として、家庭での処理方法についてのメモを渡して注意を促している。また毎月の保健便りでは、時季に応じた感染症に関するコラムや健康維持に資する情報の提供を掲載するなどの啓発にも取り組んでいる。今後は保護者と連携した保健指導についても取り組む意向を持っており、親子でできる応急手当などについて検討中である。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

評価項目8の講評

保護者との日常的な連携に努め、就労支援等の事情に配慮した支援を行っている

連絡帳や送迎時の会話などの日常のコミュニケーションのほか、保育参加・個人面談などを通じて各家庭の状況を把握し、関係職員間で情報を共有して支援の向上に努めている。全職員がすべての子どもと保護者の顔と名前を把握してコミュニケーションするよう、意識統一に取り組んでいる。延長保育利用や夕食・補食の対応についても柔軟な対応に努め、利用者調査でも高い支持を得ている。保護者参加行事の日程に関しても主なものを土曜日に設定し、4月の園便りで年間予定を伝えるなど、働く保護者の参加の利便に配慮している。

懇談会や保育参加の機会を設定し、保護者との共通理解の深化が図られている

各クラスとも年2回行う懇談会では、年度当初はクラス内の関係を深めつつ、年間の方針などを伝え、年度末は進級・就学に向けた話題など、実施時期ごとにねらいを明確にし、事前に年齢にあった議題を決めてアンケートをとることで、話し合いが盛り上がるように工夫するなど、保育や子どもの発達に関する保護者との共通理解の深化を図っている。保育参観は午前中に保育体験をしてもらい、日頃の子どもの様子や友達とのやりとり、保育士の関わりなどを知ってもらうとともに、その後個人面談を行って個別の要望の把握にも取り組んでいる。

保護者意向を汲み取り、「子ども目線」の共有への取組がさまざまに進められている。

保育参加後の「保育参加を終えて」など行事ごとにアンケートを取り、課題や意向・要望については色マーカーを用いて係りがチェックしている。これを職員会議で報告・共有し、結果や園の意向については園便りで保護者へフィードバックをしている。懇談会・利用者調査・個別面談のほか、日常の保護者とのやりとりから得られる要望についても各種会議等で対応の検討が行われており、今年度は発表会の場所の改善などについて、入園式・懇談会で説明している。このように保護者意向を汲み取り、「子ども目線」の共有への取組がさまざまに進められている。

9 評価項目9 地域のニーズに即した子育て支援を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>園庭開放や一時保育などの地域子育て支援事業を行っている</b></p> <p>平日の午前中に年間を通じて行われている園庭開放や、在園児とともに大型遊具で遊んだり、紙芝居やお遊戯を楽しむことができる「お外で遊ぼう会」や保育園の給食を体験できる「キッズランチ」など、地域子育て世帯支援事業が行われている。また一時保育事業も行って、保護者の通院やきょうだいの学校行事への参加・リフレッシュなど理由に関わりなく利用可能として、在園児と同様の施設設備が整えられた保育室が用意されるほか、希望によっては在園児とともに過ごせるようにするなど、地域子育て世帯のニーズに応える取組となっている。</p> <p><b>「子育て支援の提供拠点オンリーワン」実践に向けたさまざまな取組が展開されている</b></p> <p>地域子育て世帯向けサービスの提供情報は、市報への掲載のほか、地域向けの子育て情報紙「らすく」を発行し、パートナー登録「らすく」の登録者へのメール配信やHPへの掲載などによって広報をしている。「らすく」には、季節のトピックスやトイレトレーニング、食事や睡眠など保護者の関心ごとについてのコラムも掲載している。これらの地域活動は「気軽に立ち寄れる場所」であることを基本としており、ミッションステートメントに掲げる「子育て支援の提供拠点オンリーワン」実践に向けたさまざまな取組が展開されている。</p> <p><b>地域ニーズに応じた事業展開に向けた検討が進められている</b></p> <p>園庭開放や「お外で遊ぼう会」を通じて交流が生まれた保護者がともに「キッズランチ」を利用し、ランチルームで談笑する姿が見られるなど、園の開放が地域子育て世帯の交流にもつなげられている。「キッズランチ」では実施の都度参加者からアンケートを実施して感想・要望を収集して記録化している。園庭開放などにおける会話などからも保護者ニーズを汲み取り、その結果を受け、次年度に向けて、看護師による育児相談や身体測定、アレルギー児に対する「キッズランチ」の実施などについて検討が進められている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域のニーズに即した子育て支援を実施している
タイトル①	地域ニーズに応える意欲的な取組が展開されている	
内容①	園庭開放・在園児とともに楽しむことができる「お外で遊ぼう会」、給食を体験できる「キッズランチ」や一時保育事業など、地域の親子が気軽に利用できる施設として園を開放し、地域の子育て世帯の交流にもつなげられている。開園まもない園の基盤作りの途中という難しい環境で進められているこれらの事業は、ミッションステートメントに掲げる「子育て支援の提供拠点オンリーワン」の実践として行われており、次年度に向けて新たな企画が検討されるなど、地域ニーズに応えるべくさらなる活動の展開を見据えた意欲的な取組となっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	園の基盤・標準作りが職員の総力を集めて行われている	
内容②	中長期計画に掲げる目標から、子ども・保護者・地域・職員の各チームがそれぞれに課題を設定し、実践を重ねており、これらの活動は単なる役割分担ではなく、職員の資質向上も目途に含んだ取組として進められている。またOJTマニュアルの整備や非常勤職員にも有用なマニュアルの作成のほか、ヒヤリハット報告に関しては子どもの発達を踏まえた視点で認識共有につなげるなど、系列園からもたらされたノウハウに加え、園独自の実効性の高い基準作りが職員相互の研鑽のもと進められている。園の基盤・標準作りが職員の総力を集めて行われている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル③	職員の気づきや工夫の共有化、やる気や働きがいの向上に努めている	
内容③	職員の裁量範囲を職務基準書に定め、園長・主任への報告・連絡・相談を必須とし、気づきや工夫は会議やプロジェクトチーム活動等を通じて組織全体の資質向上につなげている。時間管理の必要性を感じ、業務整理や負担軽減、効果的な休暇取得によるワーク・ライフ・バランスの確立を掲げ、自己の目標設定によるモチベーション向上、職員企画のレクリエーションや福利厚生組織への加入、就業状況・健康状態等の把握と面談時の助言など、働きやすくやりがいのある職場づくり、チームワーク作りに努めている。	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的かつ興味に応じた行事や食へとつなげた取組など、豊かな体験が多彩に展開されている
	内容	年間を通じて、季節や伝統文化などを体験できる行事が行われるほか、運動会や発表会など子どもが準備段階から制作等も行うなど、意欲を高め、主体的に行事に取り組めるようにしている。また日々の生活とのつながりや子どもの興味からの発展性を持たせ、やり遂げる達成感や頑張る力を育てている。さらに畑での芋ほり後には系列園の子どもと一緒に公園で焼き芋交流を行ったり、お泊り保育では食材の調達からグループで分担して調理して食べるなど生活の幅を広げたり、食への興味にもつなげるなど、子どもの豊かな体験が多彩に展開されている。
2	タイトル	子ども一人ひとりの状況等を把握・共有しながら、適切な援助や環境構成の充実に努め、個別や集団でのさまざまな育ちへとつなげている
	内容	一人ひとりの発達状況等を把握・共有し、子どもへの適切な支援や配慮に努めるほか、0～3歳児の各室は2部屋に分かれており、食事・睡眠・遊びなどのスペースを使い分け、子どもが主体的かつ意欲的に遊べるよう、発達を促すさまざまな玩具を設置したり、ゆったりと絵本やままごとなどで楽しめるようにしている。また当番活動で野菜の水遣りや給食の配膳・準備などを子どもが役割を担い、責任感や人の役に立つ喜びを味わえるほか、散歩や合同保育など異年齢で関わりを持ちながら、相互の育ち合いが自然と育まれるようにしている。
3	タイトル	日々の活動を知らせるモニターや園便りの発行、懇談会などを通じて、保護者との理解共有に向けた取組がさまざまに行われている
	内容	全職員がすべての子どもと保護者の顔と名前を把握してコミュニケーションを図りつつ、懇談会・保育参加・個人面談等において、園の意向説明と保護者の意向把握に努めている。保護者へ園内のルールを説明する際にはその理由を丁寧に説明し、玄関のモニターでは、週の活動予定と毎日の活動の様子を知らせるなど、保育のねらいと実践を伝え、また給食・保健・クラスの便りが収録されている毎月の園便りでは、写真を積極的に用いて季節や子育て情報のトピックスを掲載するなど、さまざまな機会を設定し保護者との理解共有に向けた取組が行われている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	各プロジェクトチームの実践内容をさらに推進できるような情報共有や進捗管理に関する仕組みのさらなる発展に期待したい
	内容	職務分担表やマニュアルに役割分担を示し、グループウェアを用いてスケジュールの共有化と進捗管理を行い、着実な計画推進に努めているが、グループウェアをさらに有効活用できる部分も見受けられるため、今後のさらなる情報共有や効率化も期待される。なお、各プロジェクトチームを中心とした準備・共有・検討・改善などがさまざまな内容で取り組まれている。これらを踏まえて次年度には職員の勤務形態や子育て事情等を考慮した活動調整、保護者の事情を配慮した相談受付の仕組みの確立が予定されているので、この着実な実行が期待される。
2	タイトル	人材育成とともに進められている園独自の基準作り及び実効性を伴ったマニュアルの修練とその活用に期待したい
	内容	業務全般が網羅されているマニュアルを整えるほか、必要箇所には個別の手順書を配するなど、業務の標準が示され、職員相互の研鑽、各種会議等における、園長・主任からの助言・指導などのOJTが日常的に行われるなど、業務水準の向上にも注力している。系列園に蓄積されたノウハウを活かすつも、当園の特色を織り込んだ独自のルール作りとOJTマニュアルの整備・非常勤職員や新規採用職員に有用なマニュアルの整備を今後の課題としており、課題の整理分析作業が始められている。今後のさらなるマニュアルの修練とその運用に期待したい。
3	タイトル	独自性を組み込んだ保育課程と各計画類における整合性をさらに図れるような工夫を進めるとともに、書類等の効率化なども検討されたい
	内容	保育課程のもと、各年齢で年間指導計画から月案等を作成しており、保護者にもその計画実行状況についてモニターを活用して積極的に周知をしている。ただ保育課程と各計画類との関連・連動や計画間の整合などを課題と認識している。主任等を中心にして保育課程のより独自性を組み込んだ見直し内容が次年度に活かされる予定となっているとともに、カリキュラム会議での検討や随時の指導に取り組むため、これら引き続きの取組とともに、書類等の効率化も含めて検討されることも一考の余地がある。